

宮前ガバナンス9月号

等々力緑地 機能強化に向け整備が進行中

川崎市議会議員 石田やすひろ

川崎市の広域避難所であり、緑の拠点として、またJリーグ川崎フロンターレのホームスタジアムがある中原区の等々力緑地が、利便の向上、機能強化のための再編整備が進められています。

川崎フロンターレのホームスタジアムである等々力陸上競技場は現在の位置で

整備が進められます。収容人員を現在の2万5千人から3万5千人ほどに拡大する予定で、第1期整備としてメインスタンドの収容人員を3400人から1万人程度に拡大する工事を平成24年度に着手、平成27年のJリーグ開幕までに完成させる予定です。また、メインスタンドの完成に合わせて

ホームサポーターから見やすい位置に新たな大型映像装置を設置、スタンドに訪れたサポーターを熱くさせてくれます。サイド・バックスタンドの改築は第2期整備を行う計画です。施設は、試合のない時には大規模な会議や展示会など多目的に利用できる予定です。

等々力競技場の完成予想図。サポーターは勿論、広く市民が使える施設になる予定です。

市民がつどい、快適に過ごし、有事の際は頼れる、そんな総合公園としての機能が発揮できるよう、議論に臨んでまいります。



川崎市立大蔵中学校卒業、明治大学大学院(公共政策修士)修了、国会議員の秘書を経て1999年28歳初当選。現在4期目。子育て支援策の強化や区役所機能の強化を推進する。その他、政策を議会でも提案し多数実現をしている。議会発言後は、必ず新聞や広報紙を作成しその内容について積極的に市政報告を実施。

その他ブログ等は
市議会議員 石田やすひろ



等々力競技場の完成予想図。サポーターは勿論、広く市民が使える施設になる予定です。



【今月の1枚】
「東日本大震災復興支援シニアサッカー大会」に参加しました川崎市議会議員チームVS福島シニアチーム